NIE実践報告

1．タイトル：裁判を学び、人権を考えよう

2．学校名

北海道札幌市立宮の森中学校

3．実践者名（代表者名）

阿部　晋也

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　112名

6．単元（本時の学習課題）名

「人権の尊重と日本国憲法」

7．目標（狙い）

新聞記事から裁判に関する基本知識を学び、理解した上で死刑制度について考える。

8．評価の視点

新聞記事に関心を持ち、わからない語句を調べることができたか。
死刑制度について自分なりに考えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「人間の尊重と日本国憲法」（教科書）12時間
合計12時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（1）新聞記事「山口母子殺害」を読み取り、わからない語句を調べ、まとめる。（1時間）
（2）裁判に関する基本的知識を身につけ、死刑制度について自分の考えをまとめ発表する（2時間）

留意点
・新聞記事を熟読させ、わからない語句を抜き出す。まだ学習していない事柄、専門用語が多いので、抜き出した語句が多くても当然であると助言する。
・裁判所に関する網羅的な学習にならないよう留意する。
・自分の考えをまとめて発表する。また、他の人の考えを聞くことで事で自分の考えをさらに深める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

専門用語も多く、語句を調べるのに時間がかかったが、調べる課程で生徒同士が「教えあう・学びあう」場面が数多くみられた。難しい新聞記事ではあったが、内容を理解できた時の達成感は大きかったようである。

12．成果と課題

有名な事件の新聞記事を活用したことで生徒の関心は非常に高かった。また、死刑制度の発表では意見が賛成反対と分かれ、これから学習する人権や裁判への関心意欲が高まり、スムーズに学習が進んだ。